

川崎市へ提案書を提出

(平成 26 年 2 月 21 日)

「川崎大師大開帳奉修に伴う川崎駅前観光バス一時駐車場の活用について」



左より小菅常務理事、伊藤局長、寺尾委員長、三浦副市長、馬場会長、小泉専務理事

提案書が川崎市に了承され、これを受けて、日進町交差点手前側道（「靴のヒカリ」前付近の市道）に、「大型観光バス一時乗降場所」看板を設置しました。



平成26年2月21日

川崎市長 福田 紀彦 様

川崎商工会議所 会頭 山田 長満
一般社団法人川崎市観光協会 代表理事・会長 斎藤 文夫
川崎駅前商店街連合会 会長 馬場 義弘
川崎中央商店街連合会 会長 猪熊 俊夫

川崎大師大開帳奉修に伴う 川崎駅前の観光バス一時駐車場の活用について

平素、川崎駅周辺の整備事業や観光振興策の推進をはじめ、地域経済の活性化施策の推進には格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

また、産業観光の促進や外国人観光客の誘致など、観光の将来に向けて様々な取り組みを推進されておりますことは、市内事業者、関係団体にとりましては誠に心強く、深く感謝を申し上げる次第でございます。

さて、川崎市が誇る観光名所である川崎大師は、毎年多くの参詣客が訪れ、正月三が日の初詣客数は平成25年が298万人、平成26年は302万人と、共に全国第3位となっており、川崎を代表する重要な観光拠点となっております。

その川崎大師において、本年5月1日から31日まで10年に1度の大開帳奉修が行われることとなっており、数十万人の参詣客が訪れるものと予想されております。この大開帳に伴う本市への観光客への利便性の確保と川崎駅周辺の回遊性向上は、地元経済界として取り組む課題として認識しております。

しかしながら、観光バスで川崎大師へ訪れた参詣客が川崎駅周辺に立ち寄って買い物や食事をするにあたって、川崎駅前には大型バスを一時停車しておくスペースが絶対的に不足しているのが現状でございます。昨年、高速路線バスの発着所が「ラ・チッタデッラ」前に設置されましたが、あくまで路線バス専用の発着所であり、観光バスを一時停車することはできない状況となっております。

大型観光バスで川崎を訪れる観光客を「おもてなし」の心をもってお迎えし、やむなく道路での違法駐車にならないよう利用者の利便性を図り、川崎駅周辺の回遊性を高めるためには、大型観光バスを一時的にでも停車可能な場所を確保し、駅周辺へのアクセス性を高めることが重要であり、川崎の地域活性化、経済活性化をさらに促進するものと考えております。

つきましては、川崎大師大開帳の期間にあわせ、日進町交差点手前側道（「靴のヒカリ」前付近の市道）を大型観光バスの一時的な駐車可能なエリアとして利用しやすくできるよう、特段のご配慮を賜りたく、地元経済団体、商業団体、観光振興団体の総意として、ここに提案するものであります。

なお、大開帳が本年5月ということもあり、ご配慮いただける回答をいただきましたら、その利用について関係旅行会社等にも要請し、川崎駅周辺への観光客の誘致に結び付けてまいりたいと考えておりますので、行政、経済界と一体となった観光振興、駅周辺活性化につながるよう、よろしくお願いいたします。

以上